

広陵町教育委員会だより

令和2年度 10月号 10月13日 発行
広陵町教育委員会
北葛城郡広陵町南郷583-1
TEL0745-55-1001 文責・編集 植村



雲隠(くもがくり)、雁(かり)鳴く時は、秋山の、
黄葉(もみち)片(かた)待つ、時は過ぐれど

10月の万葉集 万葉集 巻9-1703 柿本人麻呂
(雲に隠れて雁(かり)が鳴くときは、秋山の黄葉(もみち)がただ待たれます。もう、そんな季節になったのに)

読書で感動を！



10月に入り、町の木であるモクセイの花の香りがそよ風に吹かれて、周辺に芳しい秋の香りを漂わせています。

今年も暦に合わせて月日が経つと同時に季節も秋へと移ろってきました。ただ、例年と大きく違うのは、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、未だに収束しないどころか、これから先の冬にかけてインフルエンザの流行と相まって、より徹底した対策を講じていかねばなりません。子どもたちが決して感染しないよう学校・園ではこれまで以上に徹底した感染予防対策を進めてまいりますので、ご家庭をはじめ、地域の皆様にもご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、昨年11月号の教育委員会だよりで「読書のすすめ」について書きましたが、今月号でも書かせていただきます。

「何で本が好きで読むんやろと考えていたら、思った。僕にとっては感覚の確認作業と発見作業なんです。感じたら言葉にしないと不安。それが確認。もう一つの発見作業は、裏切られる瞬間の気持ちよさのようなものでしょうか。」

この言葉は、読書好きで、「火花」を書いて芥川賞を受賞したお笑い芸人コンビ「ピース」の又吉直樹さんが、受賞する前に、ある新聞のコラムで書いたものです。

テレビを見る、ラジオを聞く、ネットで情報を知るとのことと本を読むことは本質的に違いがあります。本には著者の真剣な〈人生〉が凝縮され、考え抜かれた表現が多いです。本を読むとは、そういう他の人生と真剣に向かい合うことを意味し、こちらが読もうとしなければ相手は一行たりとも心を開示してくれません。こちらの気力がなくても情報を提供し続けるメディアとは大違いです。

「本を読んで感動する」とは、心に波動が起こることですが、その正体が何であったのかをつかまないと不安になります。その解消には自分の言葉で正体を掘り進んでいくしかありません。そして、これだという言葉掘り起こしたとき不安が解消されます。それを又吉さんは「確認作業」と呼んでいると思います。

また、「裏切られる時間」とは、今までの価値観と衝突し、慣れない何ものかを感動的に突きつけられたということ。「発見作業」と呼んでいると思います。

この「確認」と「発見」の連続は、人生の理想的な歩み方を示していることにもなります。読書ある人生と読書なき人生との差は大きく、読書なき人生は人生の味わいから遠ざかります。



教育委員会の取組

記念物「100年」パネル展が開催されています！

文化庁は、2019年から2021年にかけて、「記念物100年」事業を実施しています。これは、2019年に記念物保護制度の「史蹟名勝天然記念物保存法」が制定されて100年を迎えたことを機に、多くの人に記念物の魅力を改めて知っていただくことを目的としています。

そこで、町文化財保存課では、この事業に参加し、「発掘された日本列島2020」展の特集展示、「記念物100年」展のパネル素材をデータとして提供してもらい、そのデータを印刷してパネルにして展示するものです。開催場所と開催期間は下記のとおりです。



広陵中央公民館：令和2年10月1日(木)～10月30日(金)

広陵町立図書館：令和2年11月1日(水)～11月23日(月) (予定)

広陵町文化財保存センター：令和2年12月1日(火)～12月25日(金) (予定)

現在は、広陵中央公民館の事務室からかぐや姫ホールに行く通路で、パネル展を開催しています。

下の写真は、パネルの一部を抜

粋して掲載しています。



史跡 足利学校 史跡内風景



特別史跡・特別天然記念物
日光杉並木街道



史跡 佐渡金銀山遺跡
北沢浮遊選鉱場



名勝 躑躅ヶ岡 つつじ古木群

学校から



学校長より

東小学校より

『SDGsについて知ろう!!』

9月18日(金)、日本青年会議所奈良ブロック協議会より講師をお招きし、4年生を対象にSDGs授業を実施しました。

SDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された、



「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標です。広陵町は、2019年にSDGs未来都市に選定されました。そこでSDGsのを知るために、総合的な学習の時間に取り組むことにしました。子どもたちは、「自分たちにできること」を考えて、多くの意見を出し合いました。今後は、17個の目標の中から、Goal16「水」に絞って学習を進めていきます。

右の写真はタイヤ転がしリレーの様子です。大ききの違うタイヤを2個同時に転がし、次の走者に渡します。バランスをとるのが難しく、一つのタイヤが横にそれてしまっていて苦労している場面が多くありました。

北小学校より

「よーし、頑張るぞ！」

秋晴れの10月1日(木)、広陵北小学校で秋季体育大会が開催されました。『空まで届け!北小花火』のテーマのもと、全校児童が元気いっぱいグラウンドを駆けました。



【徒競争のスタート場面】

真美ヶ丘第一小学校より

学校ボランティアの皆さんに感謝!

月に1回の学校ボランティアの方々による環境整備活動です。この日(10月1日)は、学級園の草引きをしていただきました。地域のみなさんの支えにより、子どもたちはとてもいい環境で充実した



学校生活を過ごすことができています。本当にありがとうございます

真美ヶ丘中学校より

思い出に残る体育大会 ～絆～

9月30日(水)、さわやかな秋空の下、第35回体育大会が行われました。コロナ禍で規模が縮小され、十分な練習もできない状態でしたが、密接を避けるため、新たに考案された新種目に挑戦し、それぞれの学級で絆を深め、一体となって一生懸命取り組んでくれた、すばらしい体育大会でした。

右の写真はタイヤ転がしリレーの様子です。

大ききの違うタイヤを2個同時に転がし、次の走者に渡します。バランスをとるのが難しく、一つのタイヤが横にそれてしまっていて苦労している場面が多くありました。



広陵中学校より

子どもたちの満面の笑顔に満ちた体育大会

10月7日(水)に短縮と制限のもと第62回体育大会が開催されました。

コロナ禍の中、練習時間をはじめ、競技内容も様々な制限がありましたが、生徒たちは精一杯練習し、目一杯楽しんでくれた半日となりました。

子どもたちの一生懸命な姿や満面の笑顔に満ちた大会となりました。



今月の一言

「人から忠告を受けたら、彼の中に天の声、天の意思があると思いなさい。そうすればその忠告は、たとえどんな内容のものであっても、あなたにとって有益なものとなるでしょう。

ジョセフ・マーフィー

米国で活動したアイルランド出身の宗教者、著述家。ニューソート派に属し、主に牧師として活動しました。常に明瞭で優しい語り口と文章で、人間の心の原理と実践についての貴重なノウハウを人々に提供し、多くの悩める人々を精神的、身体的、環境的な苦しみから救済してきました。

人からの忠告は、あなた自身を高めるためのもので、天から発せられた声や意思だと、そして、その忠告を真摯に受け止めることがあなたの成長につながるとマーフィーは言っています。

